

喉頭摘出患者のための新しい代用音声の開発

喉頭がんなどで声帯を含む喉頭が摘出されると、声が失われる

喉頭摘出患者が音声で会話をするためのツールとして「代用音声」がある

従来の「代用音声」の問題点

- 食道発声 : 特に体力のない患者には習得が困難
- シャント発声 : 全身麻酔下での手術が必要
- 電気式人工喉頭 : 機械のように抑揚がなく不自然な音声

喉頭摘出患者の90%が術後の生活の不自由さを感じ、社会的経済的に不利な立場にある

電気式人工喉頭の改良は長年試みられているが、電気的な振動音を消すことは不可能
→より自然な音声で会話可能な、新しい発想の「代用音声」の開発が必要

